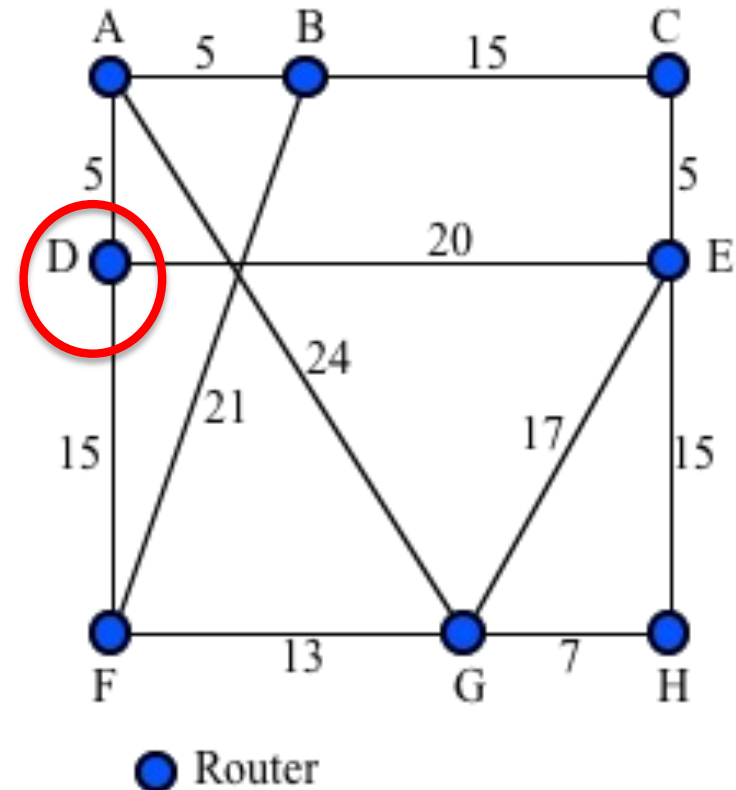


第11回レポート

右図に示すネットワークを考えます.

ここでは、距離ベクトル型のルーティングプロトコルが用いられているものとしてします. この図においてルータ間の通信回線ごとに記入してある数字は、そのルータ間の距離を表します.

ここで、ルータDがルーティング表を作成する様子を考えます. ルータDが受け取る距離ベクトルは次のページの表の通りです.



第11回レポート

| 宛先 | A | E | F |
|----|----|----|----|
| A | 0 | 25 | 20 |
| B | 5 | 20 | 21 |
| C | 20 | 5 | 36 |
| E | 25 | 0 | 30 |
| F | 20 | 30 | 0 |
| G | 24 | 22 | 28 |
| H | 31 | 15 | 20 |

ルータDが受信する距離ベクトル

問い)

受信した距離ベクトルから、ルータDの新しい経路表を作成し、過程とともにその経路表を示してください。

経路表には、宛先のルータごとに、そのルータまでの距離と次のルータを記入してください。

また、もし距離の等しい複数の経路が最短距離となる場合には、アルファベット順で早いほうのルータを記入してください。

第11回レポート

感想・意見などがあれば自由に書いてください。

7月5日（土）12時まで、PDFファイルにしてMoodleで提出してください